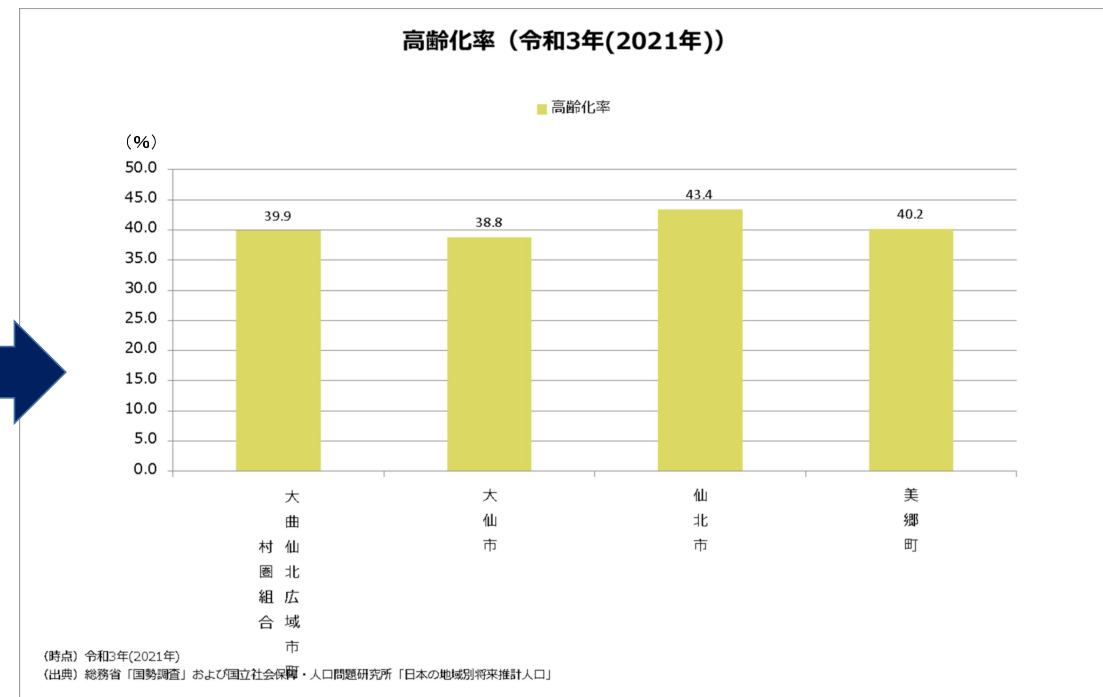
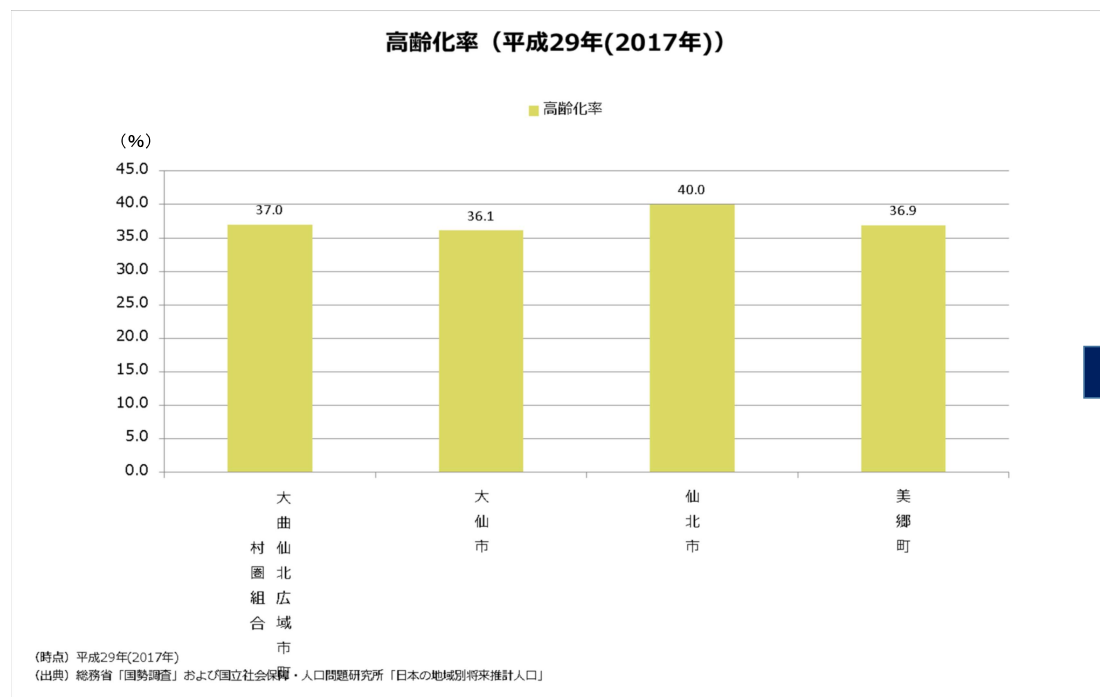
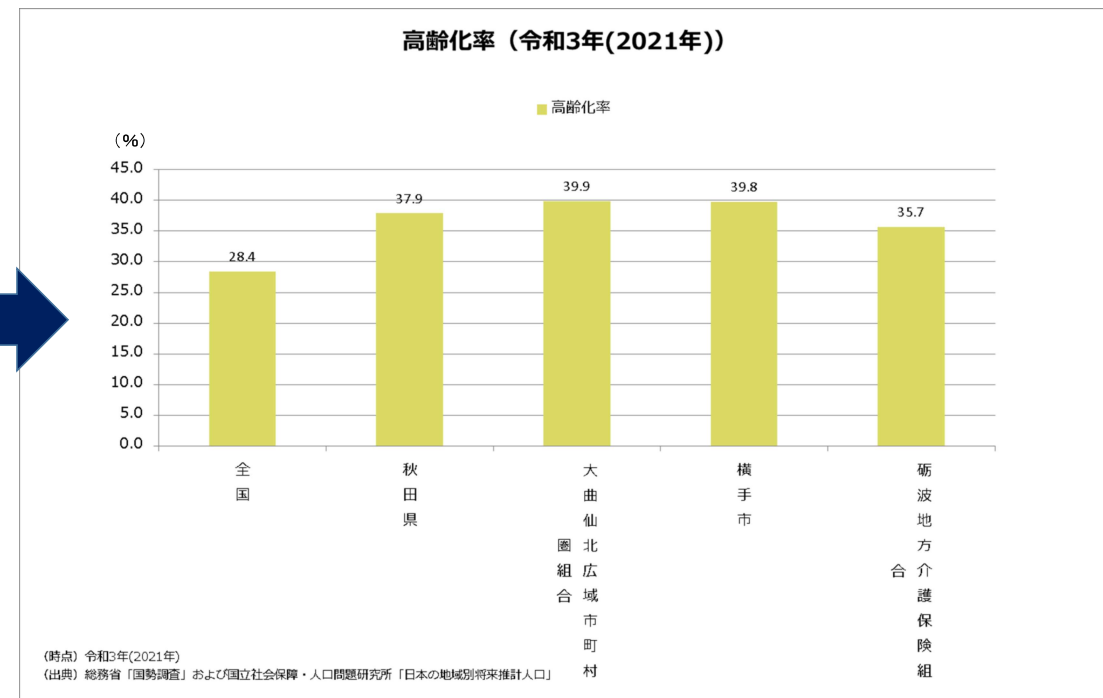
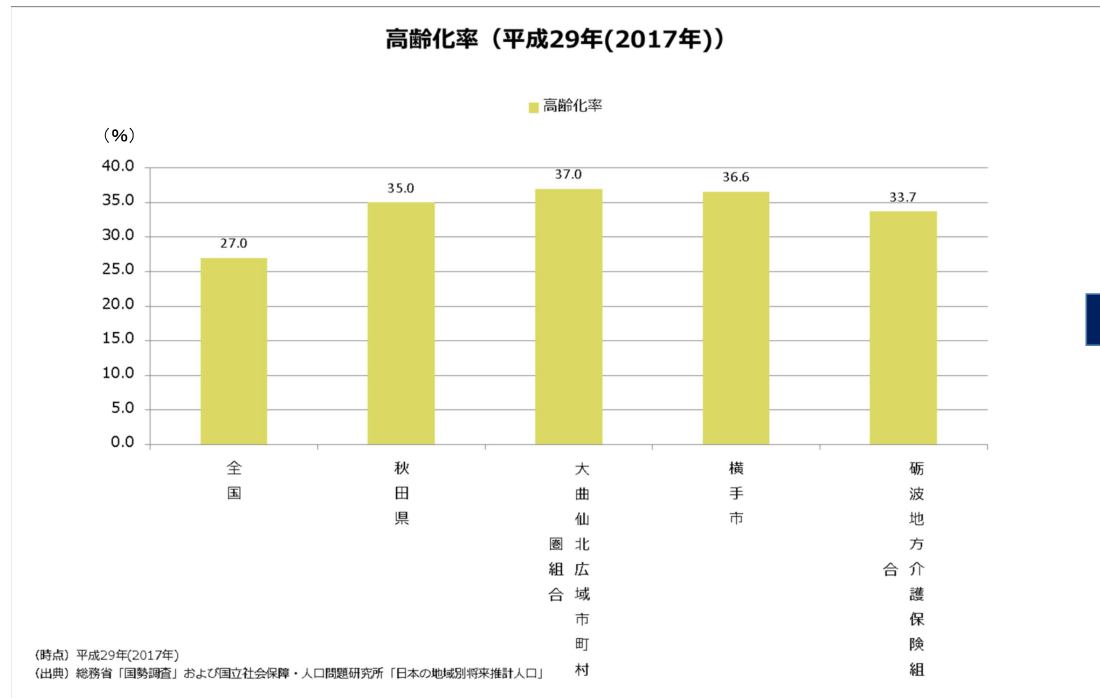


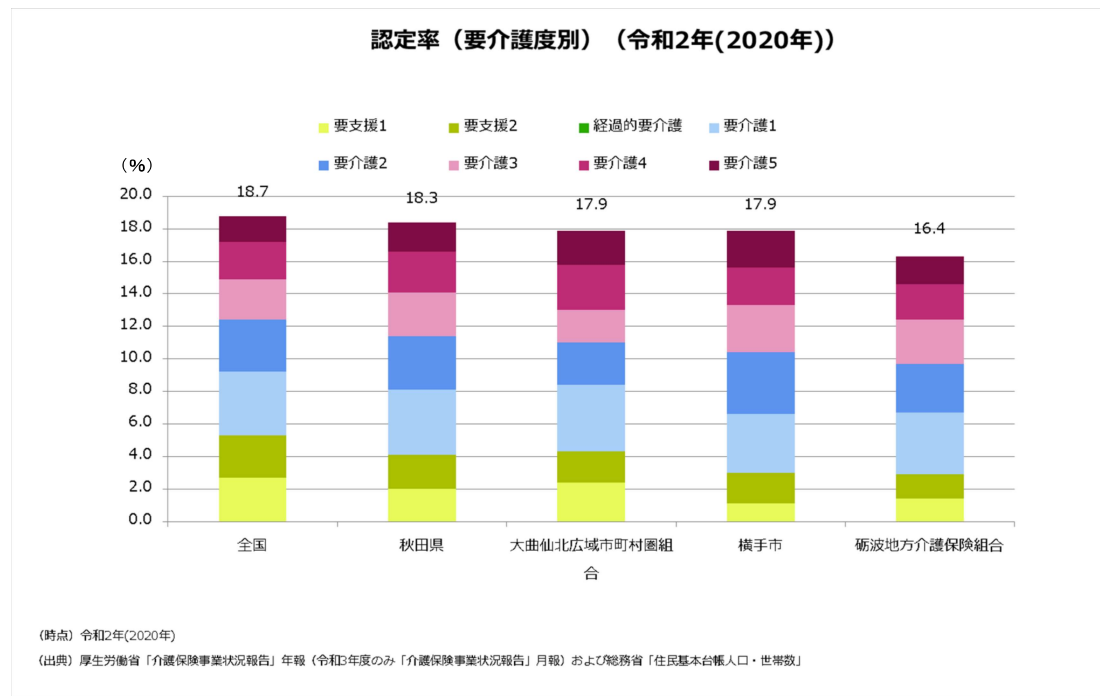
大曲仙北広域市町村圏組合における介護保険事業の特徴

全国、秋田県、隣接する横手市、一部事務組合で介護保険事業を運営している保険者で人口規模や高齢化率が当組合に近い富山県砺波地方介護保険組合と当組合(構成市町:大曲市、仙北市、美郷町)を比較し介護保険事業の特徴を分析したものです。



○高齢化率につきましては、平成29年と令和3年の比較で当組合が2.9%、横手市3.2%、砺波組合2.0%の上昇でありました。今後は若年層の減少により高齢化率が伸びると思われませんが、高齢者数につきましては、令和2年にピークとなりその後、減少するため、介護サービス事業所の開設につきましては、必要量を見極めながら検討する必要があると考えられます。

○日常生活圏域別(市町別)の特徴として、高齢化率は平成29年から令和3年までの5年間に大仙市は2.7%、仙北市は3.4%、美郷町は3.3%と上昇幅に違いがみられます。このことにつきましては、64歳以下の人口の減少の割合が大きく影響していると考えられ、大仙市では約5,600人、率にして10.3%の減少、仙北市は約2,250人、率にして13.6%減少、美郷町は約1,500人、率にして11.8%減少となっています。



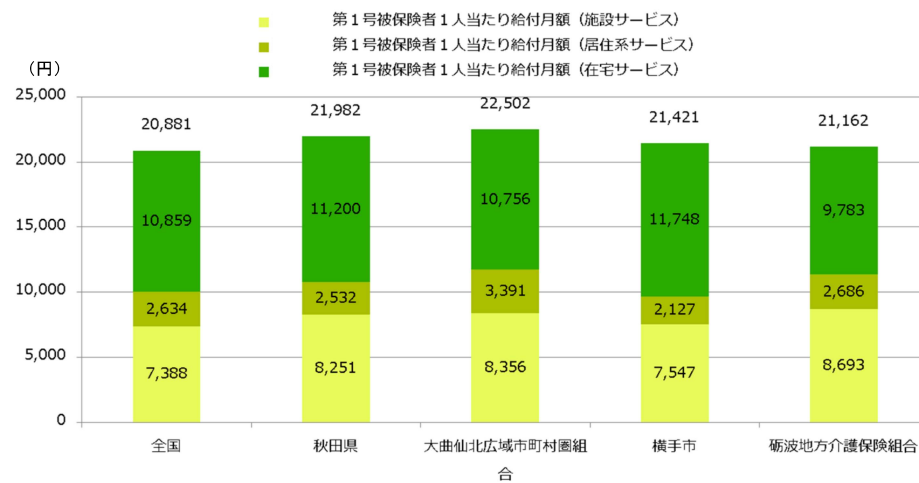
・要介護認定率：第1号被保険者（65歳以上）のうち、要支援・要介護認定を受けた人の割合をいいます。

・調整済み認定率：要介護認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性別・年齢構成」の影響を除外した認定率をいいます。

○要介護認定率につきましては、横手市と同率、砺波組合の1.09倍、全国の0.96倍、秋田県の0.98倍でほぼ差は見られませんでした。

○要介護度につきましては、他保険者と比較して要介護4・5の重度の方の割合が高くなっております。

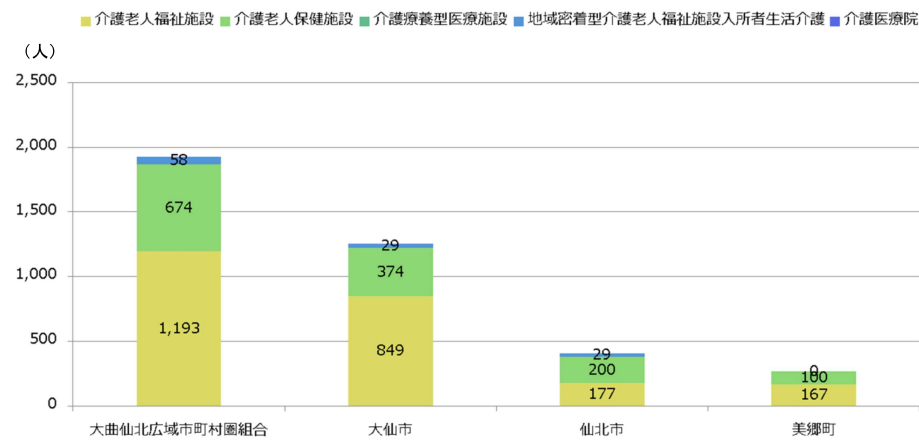
第1号被保険者1人当たり給付月額(総額) (令和元年(2019年))



(時点) 令和元年(2019年)
(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

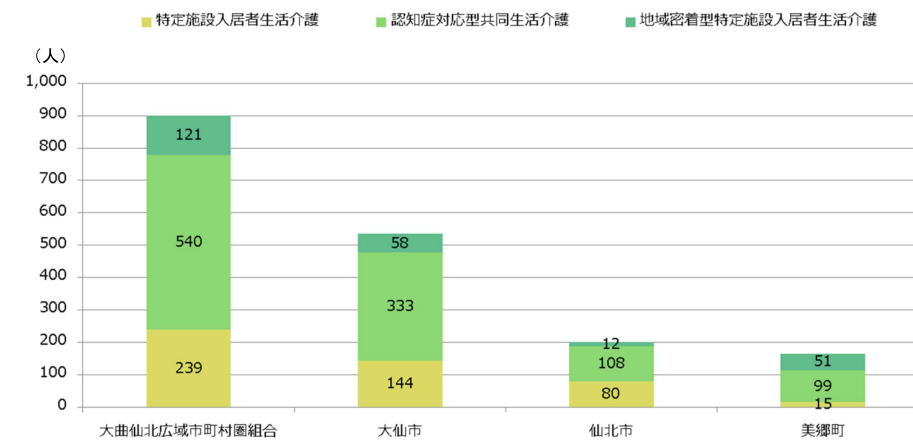
- 施設サービス: (地域密着型) 特別養護老人ホーム、老人保健施設等
- 居住系サービス: (地域密着型) 特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- 在宅サービス: 訪問介護、訪問入浴、訪問看護、通所介護、通所リハ、短期入所生活介護等

定員(施設サービス別) (令和2年(2020年))



(時点) 令和2年(2020年)
(出典) 介護サービス情報公表システム

定員(居住系サービス別) (令和2年(2020年))



(時点) 令和2年(2020年)
(出典) 介護サービス情報公表システム

○当組合の一人当たり給付費につきましては、居住系サービスが横手市の1.59倍、砺波組合の1.26倍、全国の1.29倍、秋田県の1.34倍となっております。

○施設サービス、居住系サービス、在宅サービスのバランスを他保険者と比較してみますと、居住系サービスの割合が大きくなっており、これは当組合においては有料老人ホームを本体とする特定施設入居者生活介護と認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の整備が進んでいることが要因であり認知症高齢者を対象としたサービスが充実しているといえます。

○大仙市、仙北市は面積が大きくその中で集落が点在しているという特徴があります。そのため在宅サービスを提供する場合には移動距離が長く、時間がかかるという問題が生じます。このことは今後、在宅サービスを維持・整備していく上で大きな課題といえます。

○施設サービス、居住系サービスとも全体の6割強が大仙市に集中していますが、これは各市町の高齢者数からすると適正な数値といえます。今後の施設・居住系サービスの整備については各市町の高齢者数、認定者数の見込等を考慮しながら検討していく必要があると考えます。